

トピックス

トピックスでは、この間の行われた取り組みの一部を掲載しています。
組合員活動についての最新情報や取り組みはホームページをご覧ください。

八戸地域：吹上こ〜ぶ委員会



7月14日（金）是川縄文館で吹上こ〜ぶ委員会主催の「初夏のつどい」が開催されました。当日は「滑石の勾玉作り体験」と「縄文ボランティアガイドによる見学」を行いました。

「滑石の勾玉作り体験」は経験者も含めヤスリを使って滑石の形を整え、磨く作業に集中していました。「縄文ボランティアガイドによる見学」では参加者からの質問にボランティアガイドから丁寧に答えて頂きました。参加者は郷土の歴史をあらためて学習していました。

上北地域：三沢こ〜ぶ委員会



7月10日（月）三沢市「そだなす館」で三沢こ〜ぶ委員会主催の「初夏のつどい」が開催されました。

学習の後、モチーフ編みでコースターづくりに楽しく挑戦しました。また、会場に用意された「ベジチェック」で野菜摂取量の測定も行い、参加者は日々の野菜摂取量について理解を深めていました。

各地域で初夏のつどいを開催しました。今回の学習のテーマは、「コープの洗剤」と「サステナブル」についてです。
今回はその一部を紹介します。

五所川原地域：中央こ〜ぶ委員会



7月7日（金）、五所川原市中央公民館にて、中央こ〜ぶ委員会の初夏のつどいが開催されました。

つどいのしおりで、組合員の声から開発された商品についてや、コープの洗剤について学びました。その後、オリジナル革細工のキーホルダーを作りました。様々な色や形のパーツを選んで、自分だけのキーホルダーを、と熱心に、にぎやかに取り組みました。

下北地域：川内こ〜ぶ委員会



7月8日（土）、むつ市海と森ふれあい体験館で川内こ〜ぶ委員会主催の「初夏のつどい」が開催されました。つどいのしおりでの学習、「ベジチェック」で野菜接種量の測定のあと、多肉植物の寄せ植えを楽しみました。また、むつ市地域おこし協力隊の小池拓矢さんから、下北ジオパークについて教えてもらいました。

次回のつどいは、11月頃に開催予定です。開催場所日時については、各地域のチラシやHPをご覧ください。



◁今後の予定、最新の取り組みはこちらからご確認できます。

年度	組合員数	あったこと
2019	155,191人	和徳店移転新築オープン/生協ねぶた青森ねぶた祭に連続30回参加/共同購入ポイント制度の導入/「あおり県民でんき」取扱開始/スマホ決済アプリ「コープペイ」導入
2020	154,159人	黒石店閉店/青森センター増改築/青森県社会福祉協議会「こども宅食」に商品提供開始/関連会社(株)あおり協同サービスを解散し(株)コープ東北保険センターに統合/「コープあおり商品政策」策定
2021	157,059人	るいけ店リニューアル/ミートセンター移転・拡張/プリペイドカード「こぶあ」導入
2022	158,644人	共同購入事業から宅配事業へ呼称変更/物流サポートセンターの開設/コープあおりフードサポートを開始/
2023	?人	コープあおり30周年

2019年、青森市民生協時代から続いた生協ねぶたが、連続30回出陣します。節目の年となりましたが、翌2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により青森ねぶた祭が開催されず、残念ながら、生協ねぶたの運行を担ってきた「ラッセラの会」会員減少と高齢化により、現在は解散しています。
2020年、黒石店は、赤字を解消できず、閉店してしまいました。同年、青森社会福祉協議会が行う「こども宅食おすそ分け便」に協力し、宅食やフードパントリーなどで配られる物品の提供を開始しました。

2021年9月に、るいけ店をリニューアルオープンしました。リニューアルオープン当日には、たくさんのお客様が来店されました。
2022年には、班利用の減少と個人宅配の増加に合わせ、宅配共同購入事業から宅配事業へ呼称変更しました。浪岡合同センター内に、宅配で使う備品などの洗浄を行う「物流サポートセンター」を開設しました。
コープあおりフードサポートを開始しました。店舗では寄付するために購入した商品、宅配では寄せられた募金を商品に換えて、地域の福祉団体や施設に寄付する活動です。

2023年、コープあおりは30周年を迎えました。
これまであったことを少し振り返りましょう⑦
(2019年度〜2022年度編)

